

第 78 回国民スポーツ大会 SAGA2024 ビーチバレーボール競技(少年男女)

伊藤・務台ペア(共に松商学園高)が5位入賞！ 男子も準優勝ペア相手に健闘

【県強化委員 ビーチ担当 三島英徳】

女子2回戦からの登場となった〔伊藤沙帆・務台真己ペア〕(共に松商学園高)の相手は、開催地の佐賀県のペア。会場は佐賀県の大応援団&アウェー状態でした。1セット目はその雰囲気にも飲まれたのか、序盤から一気に5点リードされたまま16-21で落としました。2セット目も同様に序盤から5~6点リードされる展開。それでも、伊藤・務台のサーブ、ディグからの粘りもあり、終盤16-16で追いついた後、サーブで崩して一気に逆転。21-18で取り返しました。3セット目はスタートから2人のサーブ、務台のスパイク、伊藤のディグからのカットショットが決まって一気にリードを奪うと、その流れのまま15-6のワンサイドゲームの展開で勝利。ベスト8(入賞)を決めました。

翌日16日(月)の準々決勝、相手の鳥取県は中国ブロックではトップクラスの力を持ち、安定したチームでした。1セット目、中盤迄に3点のリードを許し、終盤になっても相手のディグ、スパイクに反撃も封じられ18-21で落としました。2セット目もその流れが止められずに12-21で敗戦となりました。

同日午後に行われた5・7位決定戦は、山形県との対戦になりました。この試合前にはミーティングを行い、今迄練習して来た全てのプレーを出し切って悔いの無い試合をしようと話をして臨みました。1セット目は務台のスパイクサーブが中々入らずに苦しい展開となりましたが、終盤10-18の劣勢からスパイク



サーブが決まり出し、14-21でセットは落としたものの良い流れを作って2セット目に入れました。2セット目は出だしから務台のサウスパーからのスパイクサーブが連続で決まり、一気に6-1とリード。又、随所で伊藤のディグ、スパイクが効果的に決まり、ゲームの主導権を握りました。3セット目も同様のスタートで、2人の全てのプレーが決まって15-7で勝利。見事5位入賞を勝ち取りました。

松商学園高校の〔伊藤沙帆・務台真己ペア〕は北信越国スポ終了後、本国体での上位入賞のための練習を日々積んで来ました。中々上手く行かず苦しい時もありましたが、今回はその地道な努力が「海なし県」のハンディを克服しての快挙に繋がったと思われます。最後の5・7位決定戦では全て出し尽くして勝利を掴みました。本当に素晴らしチームに成長した瞬間でした。

尚、今回の入賞は、ビーチバレーが国スポ(国体)正式種目となってからは初となります。

一方、長野工業高校の〔松本航太・松本康駕ペア〕が出場した男子ですが、1回戦は愛媛県との対戦。相手は本大会での優勝候補であり、大会出場チームの中でもトップの高身長チーム(189㌢・185㌢)でした。その相手に対し、身長差20㌢の差をカバーすべくサーブ、ディグで対抗して粘り強く戦いました。1セット目は中盤迄一進一退の展開。松本航太のブロック、松本康駕のディグからのショットが効果的に決まって纏れる展開となりましたが、終盤17-18から愛媛の高いブロックに抑え込まれて17-21で落としました。2セット目も同様に終盤迄、きっちりゲームを作

→ 松商学園高校(伊藤沙帆・務台真己ペア)



って接戦に持ち込み、18-17 とリードしていましたが、そこから第1セット同様、愛媛のブロックに抑え込まれて 18-21 で敗退となりました。気温も 37 度と厳しい環境下での試合でしたが、結局本大会準優勝の強豪愛媛県に対して大健闘でした。

最後に、今回の国スポに際して(一財)長野県バレーボール協会や長野工業高校・松商学園高校の監督の先生、両校御父兄の皆様に対しまして心から感謝申し上げます。



← 長野工業高校 (松本航太・松本康篤ペア)

天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会 北信越ブロックラウンド

VC長野トライデンツがファイナルへ

去る9月21日～22日、富山市総合体育館において天皇杯・皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンドが開催されました。県勢はSVリーグのVC長野トライデンツ、Vリーグ男子「長野ガロンス」、女子の「信州ブリリアントアリーズ」に加えて、県ラウンドを勝ち抜いた男子「S長野」女子「松商学園高」、北信越クラブ推薦の「飯山市体協」男女、女子北信越高校推薦「東京都市大塩尻」の計8チームが出場しました。

男子決勝はVC長野とガロンスの県勢同士の対決となりましたが、地力に勝るVC長野が粘るガロンスを突き放しファイナルへの切符を手に入れました。一方女子ブロック決勝に駒を進めたブリリアントアリーズは、SVリーグのKUROBEに対し、粘りは見せるものの決定力を欠き惜しくも敗退となりました。

本大会の見どころは高校・大学・一般・JVL・SVLのカテゴリーを超えた対戦ですが、今大会では下

【県専務理事 村上里志】

克上は起きず概ね実力通りの結果となりました。ファイナルは12月12日～22日、Asueアリーナ大阪(大阪市)で開催されます。



JOCジュニアオリンピックカップ 第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

令和6年度 長野県中学男女選抜チーム 結団式を経て活動スタート!

【県強化委員 齊間香里】

9月7日(土)、塩尻市立丘中学校に於いて本年度の長野県中学選抜チームの結団式が行われました。

最初に当協会村上里志専務理事から「最終選考会に臨んで、本日ここにいない仲間の思いも背負いながら、大阪での活躍を目指して4ヶ月頑張ってもらいたい」と激励の言葉を頂きました。そして、主催者である 読売新聞社松本支局長の山口正雄様より激励も含めた御挨拶を頂いたのに引き続き、男女監督以下スタッフが紹介され、更に男子は田貝エミ監督より、女子は中村幸博監督より一人一人の名前を呼ぶ形で選手の紹介がありました。



した。最後に、男子：小田切絃貴主将（小布施中学校）、女子：黒岩詩月主将（松本国際中学校）が共に「これから4ヶ月間、チームの絆を深め、努力を重ね、全国の舞台で長野県代表の名に恥じないように頑張りたい」と決意を述べました。

今年で38回目となる全国都道府県対抗大会は、コロナ禍以前のスタイルで実施された昨年度同様、男女

47都道府県の全48チーム（開催地の大阪府は南北2チーム）の選手が一堂に会して行われる12月25日の開会式を皮切りに、3日間にわたって熱戦が繰り広げられる予定です。これから男女共、大会に向けて県内高校や他県選抜チームと強化練習会を積み重ねて参ります。皆様には絶大なる御支援・御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和6年度C級審判員取得講習会が開催されました

9月21日（土）に『令和6年度C級審判員取得講習会』を、エア・ウォーターアリーナ松本（松本市総合体育館）で開催しました。

本講習会は、当初9月1日（日）に開催予定でしたが、台風の影響により日程変更を行いました。開催にあたり、急な変更となったため、受講予定であった方が受講できなくなるなど、多くの方にご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力により、何とか開催することができました。

当日は、各地区より18名の方にご参加頂き、「審判員の心構え」「ルールの取扱い」などをテーマとして本県審判委員長及び副委員長が講義を行いました。又、長年審判委員会の一員として審判活動行い、更には長年教員チーム・スタッフとして大会に参加され、チーム目線から審判員を見ていた鏡味先生（県強化委員長・審判委員）にもご講義を頂きました。これまでの経験を通してのお話をして頂き、受講者だけでなく私達自身も、審判活動を行うに当たっての気持ちを改めて引き締める貴重な時間となりました。受講された方々にも、大いに刺激になったことと思います。

本年は、C級審査方法を、これまで実技試験と筆記試験を同日で行っていた審査から、講義を受けた後、筆記試験を行うという新しい方法に改めました。これは近年、筆記試験の点数が合格基準に満たない方や合

【県審判委員会委員長 北原良太】

格ギリギリの方が増えていること、各地区での審判員育成に当たり、実技の指導は行えるが、ルールの取扱い等については指導が難しいといった声が寄せられたためです。審判委員会としても、様々な方法を検討し、地区審判長・連盟審判長の皆様のご意見を踏まえて検討を続けた結果でもあります。今後も、皆様のご意見を踏まえ、開催方法について改善を図っていきたいと考えています。

なお、実技試験については、筆記試験の合格発表の後、各種大会や練習試合を通して、審判委員会の指導を受けながら行うこととしています。今回受講された方が全員筆記試験に合格し、実技講習を受けて来年度C級審判員として共に活動ができればと思います。

また、今回受講できなかった方々を含め、新たにC級資格を取得し、共に審判活動をして頂ける方がいらっしゃいましたら、是非来年度以降、受講頂ければと思います。

2028年に本県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されます。審判以外にも様々な役割がありますが、その中でも審判というものに興味を持って頂ける方がいらっしゃいましたら、是非お近くの審判委員、もしくは地区審判長にご相談下さい。

開催に当たり、ご協力を頂きました皆様に感謝申し上げます。有り難う御座いました。



女子はセイコーエプソンが3連覇！ 男子は松本市役所が今年のリベンジを果たす！

9月22日（日）、標記大会が大町市運動公園総合体育館にて行われました。

女子は佐久総合病院が欠場となり、セイコーエプソン（前回優勝）と大町クラブの2チームによる共に全国大会出場が決まった中での試合となりました。

第1セット序盤から接戦となり、緊張感のある試合となりました。終盤、連続得点に相手のミスも重なり、大町クラブが21-15でセットを先取しました。第2セットは、初めこそつれましたが、セイコーエプソンが速攻・サービスエースの連続得点で点差を広げ、21-12で奪い返しました。その流れは第3セットに入っても変わらずに21-14で押し切り、セットカウント2-1でセイコーエプソンが3連覇を達成しました。

男子は、大町クラブ（前回優勝）・日立ASTEMO東御・OKAYA・松本市役所の4チームが出場し、決勝は前年同様、松本市役所と大町クラブの対戦となりました。

第1セットは互いに譲らず、一進一退の攻防が続く白熱した展開でしたが、中盤、大町クラブがサーブ順

【大北協会理事長 坂本 薫】
を間違えたことから松本市役所が一步抜け出し、終盤の追い上げをかわして21-17で取りました。第2セットは第1セットの勢いそのままに松本市役所が得点を重ね、終盤、大町クラブも連続得点を上げて追い上げを見せましたが、松本市役所が21-11で勝利。セットカウント2-0で今年のリベンジを果たしました。

この結果、女子2チームは11月22日（金）から和歌山県で開催される全国大会に、男子2チームは11月14日（木）からの安曇野市のANCアリーナを拠点に行われる全国大会に出場します。特に男子につきましては、地元の利を生かし、是非とも好成績を残して頂きたいと願うばかりです。又、長野県開催ですので、会場に足を運んで頂き、皆さんの応援もよろしくお願い致します。

尚、上記全国大会で、記録を行って頂けるママさん連盟の方々の記録講習会も行いました。この日は15名参加して頂き、真剣な表情で取り組んでおられました。ご参加ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

→
男子優勝
松本市役所



←
女子優勝
セイコーエプソン



VC長野トライデンツJr.が男子の初代チャンピオンに輝く！

9月22日（日）・23日（月）、山ノ内町竜王総合体育館において標記大会が開催され、北信越5県から全国大会出場チームを除いた各県上位の男女各10チームが集い、2日間の熱戦を繰り上げました。

この大会は、北信越5県にそれぞれのヤングクラブバレーボール連盟が設立されたことを契機に、中学校部活動の地域移行化に伴って中学生バレーボール競技の活動環境の多様化を見据え、北信越バレーボール連盟指導普及委員会主催で、今後の各県ヤングクラブバレーボール連盟の競技人口の拡大と発展を期待すると同時に、来年度以降の大会開催を含めた連携強化のきっかけ作りを目的に開催されたものです。

男女各2グループのリーグ戦を予選として、更に決

【県ヤングクラブ連盟理事長 市川敏文】
勝トーナメントを行って以下の初代チャンピオンを決定しました。

〔男子優勝〕VC長野トライデンツジュニア

〔女子優勝〕トマトクラブ（福井県）

参加した選手のみならずチームスタッフ・保護者・大会役員の交流が図られ 非常に多くの笑顔に満ちた2日間だったように思いました。

各県協会及び北信越バレーボール連盟指導普及委員会の皆様のご期待に応えると共に、今後とも参加する中学生のより良い環境作りに注力していきたいと思っておりますので、関係各位のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



← 男子優勝 VC長野トライデンツジュニア 男子

令和6年度 全日本9人制バレーボール総合男子選手権大会 審判事前研修会を開催

11月14日（木）～17日（日）安曇野市を中心に表記全国大会が開催されますが、9月22日（日）同大会県予選会のお借りして、審判事前研修会を大町市運動公園体育館で実施いたしました。

今回、全国大会を開催するにあたり県ママさん連盟に大会公式記録にご協力頂くこともあり、記録員を中心とした研修内容としました。

講師には全国大会の審判委員長を務められる小林大樹氏（JVA 審判規則委員会指導部員）をお迎えし、約1時間、全国大会での事象や、経験に基づく取り扱い等の講義を行っていただきました。参加頂いた皆さま

【県審判委員会副委員長 林 康彦】
んは要点などのメモを取るなど大変熱心に聴講いただきました。また、小林講師が今研修会のために作成してご用意いただいた公式記録記入マニュアルが参加者に配布されました。全国大会に向け活用していただければと思います。

実技研修は県予選会の準決勝と決勝の2試合を使って実施しました。途中サービス順の誤りが発生するなど、実践でも起こりうる事象を経験することができ、本番ならではの緊張感の中で無事に研修を終了することができました。

その後、小林講師より総評を頂きましたが、ママさん連盟の皆さんから多くの質問が出されるなど、質疑応答も活発で非常に内容の濃い研修会となりました。事前研修会は 10 月にも予定していますが、全国大会

の成功に向け確実に準備を進めていきたいと思います。

最後になりましたが、研修会の場を準備いただくなど、主管の大北バレーボール協会より全面的なご協力を頂きましたこと、深く感謝を申し上げます。



VRAVOカップ 令和6年度長野県ヤングクラブバレーボール連盟 夏季リーグ戦

VRAVOカップ初代チャンピオンに男女共VC長野トライデンツJr.が輝く

標記リーグ戦を7月21日(日)・8月4日(日)に男子は参加6チームによる総当たり戦、女子は14チームによるブロック戦を行い その順位をもとに9月21日(土)にトーナメント戦を行いました。

練習試合とは違い、全試合3セットマッチを行うことで 各チーム共試合をこなすにつれ、着実に実力が上がって熱戦・激戦を繰り広げ、応援している保護者の皆様も本当に楽しんでいるようでした。

男子はVC長野トライデンツジュニア男子岡谷が、

【県ヤングクラブ連盟理事長 市川敏文】
女子もVC長野トライデンツジュニア女子Aが初代チャンピオンとなり VRAVOカップを手中に収めました。

現在、当連盟の加盟チームは男子13チーム、女子16チームです。男子は249名、女子は283名の選手と全チームで107名のチームスタッフ、計639名のチーム関係者が登録されており、全国的に見てもトップクラスの増加率を誇る連盟となっております。更なる新規登録チームの増加を期待するところです。



↑ VC長野トライデンツジュニア男子岡谷



↑ VC長野トライデンツジュニア女子A

男子:長野日大 女子:都市大塩尻・松商学園が全国大会出場権を獲得

標記大会が安曇野市AMCアリーナ・塩尻市ユメックスアリーナで1日目に開会式、2日目に1回戦と準々決勝、3日目に準決勝・決勝の日程で、9月13日（金）から15日（日）にかけて行われました。

今大会は、開会式から通常開催を行い、入場行進も久しぶりに実施しました。参加チーム関係者は勿論、審判団や補助員にも大勢ご協力頂き開催することができた大会でした。多くの方々に支えられ、大会を終えることができたこと、先ず以てこの場をお借りして感謝申し上げます。有り難うございました。

北信越私学大会決勝進出上位2チームが来年3月に行われる第30回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会の出場権を獲得します。

混戦の男子決勝は、昨年度優勝の東京学館新潟高等学校をフルセットで下した石川県代表小松大谷高等学校（以下「小松大谷」）と長野県第1代表の長野日本大学高等学校（以下「長野日大」）との顔合わせになりました。第1セットは、序盤から小松大谷がリードしてゲームの主導権を握りました。長野日大も喰らいついていきましたが、小松大谷は長野日大のミスを見逃さずに得点を重ね、エースに球を集めて加点。そのまま勢いに乗って小松大谷が25-17で1セット目を制しました。続く第2セット、序盤から小松大谷が得点を重ねリードするも、長野日大は底力を見せ、速い平行スパイクなどで中盤に追いついてシーソーゲーム

【県私立高等学校連盟理事長 宮下美保子】となりました。両者譲らずにゲームを進めましたが、最後は小松大谷の攻撃力が長野日大を上回り、25-23で小松大谷が勝利して初優勝を果たしました。長野日大は準優勝となりましたが、全国大会出場権を獲得しました。

女子決勝は、昨年度準優勝の東京都市大学塩尻高等学校（以下「都市大塩尻」）と、準決勝を激戦の末に勝ち上がった松商学園高等学校（以下「松商学園」）という長野県勢同士の対決となりました。第1セットは両者譲らず拮抗しましたが、中盤以降都市大塩尻が連続得点でリードし、持ち味のコンビバレーで連続得点を重ねていきました。松商学園も粘り強くレシーブで防戦しましたが、都市大塩尻は常に相手を圧倒。25-20でセットを先取しました。第2セットは一転、松商学園が連続得点で序盤からゲームの主導権を握ってリードを続けました。サーブも走って好レシーブで都市大塩尻を圧倒し、25-20でセットを取り返しました。第3セットは、都市大塩尻が序盤からスパイク、ブロックアウトでリードし、試合を優位に展開しました。松商学園も善戦しましたが、25-15で都市大塩尻が勝利しました。両校とも、全国大会出場権を獲得しました。

北信越二次予選は12月に行われ、今回出場権を獲得できなかったチームが再チャレンジする場となります。



参加チームが大幅に増加！ 全12チームを北信越大会へ推薦

9月8日（日）に大町市運動公園総合体育館において標記大会が開催されました。

本大会には6人制男子12チーム、6人制女子5チーム、9人制男子2チーム、9人制女子2チーム、9人制マスターズ男子1チームが参加しました。

残暑が厳しい暑い中で熱戦を繰り広げ、6人制男子は4試合を勝ち抜いて上伊那が優勝。6人制女子は3試合を勝ち抜いてS長野が優勝となりました。6人制女子は昨年度、2チーム参加の1試合だけだったことを考えると、参加チームが倍以上増えてトーナメントでの熱戦となりました。

各カテゴリーの上位2チーム（9人制マスターズ男

【県クラブ連盟 総務委員長 中村岳彦】
子は1チーム）を北信越大会に推薦しますが、6人制男子は他県の出場チーム数が少なかったため、長野県からは上位4チームを、女子についても上位3チームを北信越大会へ推薦することとなりました。他のカテゴリーは出場したすべてのチームを北信越大会へ推薦します。

北信越大会は10月12日（土）・13日（日）に富山市で開催されます。本大会の目玉でもあります全チームが参加しての交流会が開催されますので、選手の皆様には他県のチームの方々との交流を深めて頂きたいと思います。試合においては各部門で頂点目指して頑張ってもらいたいと思います。



9月試合結果

- ☆ ファイテン杯第23回北信越クラブ優勝大会 県予選会
https://nagano-va.or.jp/R6.9.8_phiten_cup_keka.pdf
- ☆ 第78回国民スポーツ大会 SAGA2024（ビーチ少年）
<https://kirokukensaku.net/5NS24/index.html>
- ☆ 令和6年度第28回北信越私立高等学校男女バレーボール選手権大会
兼 第30回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会北信越第1次予選会
https://nagano-va.or.jp/R6.9.15_hokusinetu_sigaku_keka.pdf
- ☆ 天皇杯・皇后杯全日本選手権大会 北信越ブロックラウンド
https://nagano-va.or.jp/R6.9.22_tennohai_hokusinetu_keka.pdf
- ☆ 全日本9人制総合男女選手権大会 県予選会
https://nagano-va.or.jp/R6l.9.22_9sogo.pdf

10月スケジュール

10/5(土)～6(日)	長野県 13 地区対抗 6 人制選手権大会 U14 の部	(塩尻市)
10/5(土)～6(日)	第 10 回 V9 チャンプリーグ女子セカンドリーグ松本大会	(松本市)
10/6(日)～9(水)	第 78 回国民スポーツ大会 SAGA2024	(佐賀県)
10/12(土)～13(日)	ファイテン杯第 23 回北信越クラブ男女優勝大会	(富山県)
10/13(日)	マルニシ CUP 第 42 回長野県小学生大会	(上田市 他)
10/18(金)～20(日)	第 15 回ヴィンテージ 8' S 交流大会	(石川県)
10/19(土)～20(日)	第 16 回北信越実業団 9 人制男女選手権大会	(富山県)
10/19(土)～20(日)	2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (VC 長野)	(安曇野市)
10/19(土)～20(日)	2024-25 V.LEAGUE MEN (ガロonz)	(須坂市)
10/20(日)	第 77 回全日本高等学校選手権大会 長野県第 1 ラウンド	(松本市)
10/25(金)～27(日)	第 72 回秋季北信越大学男女選手権大会	(石川県)
11/2(土)～3(日)		(富山県)
10/26(土)～27(日)	2024-25 V.LEAGUE WOMEN (信州ブリリアントアリーズ)	(上田市)